2026 年 10 月吉日

「2026 年度（令和 8 年度）　現場見学会」

公益社団法人土木学会東北支部
公益社団法人地盤工学会東北支部

土木学会東北支部と地盤工学会東北支部の共催により、2026 年度（令和 8 年度）現場見学会を下記のとおり開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一関遊水地は、昭和 22 年および 23 年の洪水による大水害を契機に、北上川水系 5 大ダムと併せた治水対策として計画されました。本見学会では、半世紀以上をかけた大事業の完成状況に加え、多様な土木技術を駆使した遊水地の仕組み、堤防および付帯設備、さらには貴重な平泉の遺跡を保全するために行われた堤防計画の変更などを実際にご覧いただけます。

記

◆現場見学会◆

共催：土木学会東北支部・地盤工学会東北支部

1. 日程：　　2026 年 11 月 10 日（火）
2. 見学場所：　一関遊水地
3. 見学行程（案）：

8:40	仙台駅集合・出発（東口バスプール：観光バス乗降場）
	※車中で DVD 等を使用してご説明します（60 分程度）
10:10	JR 一ノ関駅西口（乗車）
10:30-11:15	北上川学習交流館「あいぽーと」見学
	（移動）
11:25-12:10	一関遊水地（第一遊水地）見学
12:10-12:25	中里陸閘見学（車中より）
12:25-12:35	一関遊水地展望台
	（移動）
12:50-13:35	昼食休憩（平泉レストハウス）
	（移動）
13:45-14:30	世界遺産ガイダンスセンター／柳之御所資料館
14:30-14:45	休憩（道の駅平泉）
14:45-15:10	JR 太田川橋梁※見学（車中より）
	※日本初の遮水壁土堤方式の橋梁
15:10	JR 一ノ関駅西口（降車）
16:45	仙台駅到着・解散（東口バスプール：観光バス乗降場）

4. 募集人数：　東北支部管内の土木関係者 40 名程度（定員に達し次第、締め切ります）
5. 参加費：　無料（昼食は各自お取りください）

※　本見学会は継続教育プログラムとして土木学会より認定を受けております。
（JSCE26-1372　単位数　4.0 単位）
※　2026 年 11 月 26 日開催の「東北の土木技術を語る会」では、本見学会の内容をさらに深く知っていただける、一関遊水地事業に関する講演を行います。あわせてご参加ください。

◆参加にあたっての注意事項◆
※　乗車場所・降車場所は仙台駅または一ノ関駅をお選びいただけます。
※　見学コースは現場状況により変更する場合があります。
※　小雨の場合は開催します。ただし、荒天（大雨・暴風警報など）により安全な運営が困難と判断した場合は中止します。その際は、前日の正午までに、ご登録のメールアドレス宛てにお知らせします。
※　動きやすい服装でご参加ください。靴は、汚れてもよいスニーカー等をご用意ください（ヒール付きの靴は不可）。
※　ヘルメット・長靴は不要です。
※　集合場所まで、および解散場所からの交通費は個人負担となりますので、ご了承ください。
※　見学会中に、スタッフが広報用の写真を撮影します。撮影した写真は、土木学会の SNS などで使用する場合がありますので、ご了承ください。

◆申込について◆
以下の URL の「参加申込入力フォーム」に必要事項をご記入の上、お申し込みください。
http://www.jsce.or.jp/branch/tohoku/
申込期限：2026 年 11 月 2 日（月）12:00
※ 申込後に返信メール（参加申込確認メール）が届きます。
メールが届かない場合は、支部事務局までご連絡ください。

QR コードからもお申込み可能です。→

◆問合せ先◆
公益社団法人土木学会東北支部 TEL 022-222-8509

以上